

Undocumented alcoholism and its correlation with tobacco and illegal drug use in advanced cancer patients

Dev R et al.

Cancer 2011; 117: 4551-6

【目的】

- ・ 緩和ケアに依頼があった進行癌患者における、診断されていないアルコール依存症患者の頻度を調べる。
- ・ アルコール依存症と喫煙歴、非合法薬使用歴、オピオイド使用量との関係を明らかにする。

【方法】

- ・ 後ろ向き研究（緩和ケア患者 665 人のカルテを調べる）
- ・ CAGE テストにてアルコール依存症をスクリーニング
- ・ CAGE-positive 患者 100 人について CAGE-negative 患者 100 人と比較
- ・ 喫煙歴、非合法薬使用歴、Edmonton 症状アセスメントスケール、モルヒネ 1 日鎮痛当量を調べる

【結果】

- ・ 665 人のうち 598 人（90%）が CAGE テストを行っていて、そのうち 100 人（17%）が CAGE-positive であった。
- ・ 13/100 人（13%）がアルコール依存症という記載があった
- ・ CAGE-positive 患者は CAGE-negative 患者と比較して、若く、男性が多く、喫煙歴、非合法薬使用歴が有意に多く、緩和ケア依頼時点で、より強いオピオイドを使用している傾向にあった。
- ・ ニコチン使用歴のある患者は、呼吸困難感、疼痛がより強い傾向にあった。

【結論】

- ・ アルコール依存症は、緩和ケア患者で多いが、診断がついていないことが多い
- ・ CAGE-positive 患者では不適切なオピオイド増量や乱用が起こるリスクがある。

CAGE テスト

1 あなたは今までに、自分の酒量を減らさなければいけないと感じたことがありますか？(Cut down)

2 あなたは今までに、周囲の人に自分の飲酒について批判されて困ったことがありますか？(Annoyed by criticism)

3 あなたは今までに、自分の飲酒についてよくないと感じたり、罪悪感をもったことがありますか？(Guilty feeling)

4 あなたは今までに、朝酒や迎え酒を飲んだことがありますか？(Eye-opener)